

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。実践充実プランの内容と年間推進計画書との整合性に留意して記載すること。

「道徳教育推進拠点校事業」実践充実プラン 津野町立 葉山小学校		校長	安岡 幸子	教員数	18	児童生徒数 学級数	第1学年		第2学年		第3学年		第4学年		第5学年		第6学年		合計				
		道徳教育推進教師	田井 真優	18	児童生徒数		学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数	児童生徒数	学級数
研究テーマ		道徳科の趣旨を踏まえた指導方法の工夫・改善と評価の在り方に関する実践研究により、児童一人一人の道徳性の向上をめざした道徳教育の推進																					
年度当初の学校の状況		到達目標					中間検証(下半期に向けての改善事項)								年度末(到達目標達成状況)								
道徳性に関する現状		肯定%		道徳意識調査の肯定的回答の割合の向上 ①～⑧(③を除く)を90%以上にする。 ③家庭との連携に関する意識は、85%以上にする。																			
①道徳の勉強は、すきだ		82.0%		<p>児童は、自己と関わらせながら考え、他者の考えを聞くことで、自身の考えを深めようとしている。しかし、①③の項目において数値が下がってきており、新たな学びが実感できる授業づくりが課題である。</p>																			
②道徳の授業では、自分の考えを伝えたり、ほかの人の考えを聞いたりしながら、自分のこと(生き方)についてよく考えている		93.4%																					
③家の人と道徳の話をしたり、「家庭で取り組む高知の道徳」を読んだりしている		60.7%																					
④自分には、よいところがあると思う		91.8%																					
⑤将来の夢や目標をもっている		95.0%																					
⑥人が困っているときは、進んで助けている		94.3%																					
⑦地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある		94.3%																					
⑧自分の住んでいる町・地域がすきだ		96.7%																					
到達目標達成のための取組		取組計画 ※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)										指標達成状況の分析											
取組項目		取組の評価指標					5月～8月					中間評価	9月～2月(中間検証を踏まえての追記・変更可)					達成状況					年度末評価
道徳科の趣旨を踏まえた指導計画の充実		<ul style="list-style-type: none"> ◆各学年の年間指導計画を、授業後に次年度に向けて改善していく。(月1回以上) ◆別業を見直し改善していく。(学期に1回以上) 					<ul style="list-style-type: none"> ①道徳教育の全体計画、各学年道徳科の年間計画の作成、各学年の別業を4月中に作成・確認 ②年間指導計画の改善・加筆修正(授業後の直後プラン・月1回以上) ③月目標や行事と関連させた取組(行事や月目標で取り組みを話し合い、振り返りシートから効果を検証、4点満点で3.4以上) ④児童の意識調査の結果を集計→計画に反映(弱いところを意識的・重点的に取り組む) 						<ul style="list-style-type: none"> ①次年度の道徳教育の全体計画、各学年道徳科の年間計画の作成、各学年の別業の作成(授業実践をして改善したもの) ②年間指導計画の改善・加筆修正(授業後の直後プラン・月1回以上) ③月目標や行事と関連させた取組(行事や月目標で取り組みを話し合い、振り返りシートから効果を検証、4点満点で3.4以上) ④児童の意識調査の結果を集計し、計画に反映(弱いところを意識的・重点的に取り組む) 										
道徳科の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業研究		<ul style="list-style-type: none"> ◆全ての道徳科の授業を公開とし、道徳授業チェックシート【教師用】3.5以上を継続、【児童用】を3.5以上で継続(参考:教師H30 3.4→3.6、R1 3.5→3.1 児童H30 3.8→3.9、R1 3.8→3.7) ◆児童アンケートで、「自分の考えが深まる授業だった」の項目で、2.5以上(月1回) 					<ul style="list-style-type: none"> ①道徳校内研の実施(公開授業・授業づくり講座等含む)6回 ②毎時間の授業公開(管理職もしくは道徳教育推進教師が参観助言)・学び方の共有(教師同士、児童と教師)・指導の明確化と引き出したい児童の考えの明確化・ワークシートでの学びの振り返り(児童アンケート)(毎時間) ③道徳授業チェックシート(全児童、全教師)の集計、分析、活用 ④他校の公開授業への参加(1回以上) 						<ul style="list-style-type: none"> ①道徳校内研の実施(公開授業・授業づくり講座等含む)6回 ②毎時間の授業公開(管理職もしくは道徳教育推進教師が参観助言)・学び方の共有(教師同士、児童と教師)・指導の明確化と引き出したい児童の考えの明確化・ワークシートでの学びの振り返り(児童アンケート)(毎時間) ③道徳授業チェックシート(全児童、全教師)の集計、分析、活用 ④他校の公開授業への参加(1回以上) 										
道徳科の趣旨を踏まえた評価の研究		<ul style="list-style-type: none"> ◆評価の検証と共有(学期1回) ◆全ての道徳科の授業を公開とし、道徳授業チェックシート【教師用】【児童用】ともに3.5以上を継続(参考:教師H30 3.4→3.6、R1 3.5→3.1 児童H30 3.8→3.9、R13.8→3.7) 					<ul style="list-style-type: none"> ①道徳ファイルや授業記録を活用し、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→評価方法を校内で共有→通知票に記載 ②毎時間の授業評価として、児童の多面的・多角的な見方、自己との関わりについて評価→略案に明記 ③評価方法についての校内研修を実施(1回以上) ④授業評価を指導に生かす(道徳授業チェックシート年間20回以上実施)→授業の課題を次時に取り組む ⑤道徳授業チェックシート(全児童、全教師)の集計、分析、活用・【教師】授業者は毎時間・参観者は月1回・【児童】学期に1回以上 						<ul style="list-style-type: none"> ①道徳ファイルや授業記録を活用し、学習状況や道徳性に係る成長の様子を把握→評価方法を校内で共有→通知票に記載 ②毎時間の授業評価として、児童の多面的・多角的な見方、自己との関わりについて評価→略案に明記 ③評価方法についての校内研修を実施(1回以上) ④授業評価を指導に生かす(道徳授業チェックシート年間20回以上実施)→授業の課題を次時に取り組む ⑤道徳授業チェックシート(全児童、全教師)の集計、分析、活用・【教師】授業者は毎時間・参観者は月1回・【児童】学期に1回以上 										
家庭・地域と連携した道徳教育の推進		<ul style="list-style-type: none"> ◆「高知の道徳」を活用して、保護者・地域の方に発信(毎月1回) ◆家庭・地域に授業参加を呼びかけるとともに、家庭で「道徳について話す機会」を設ける(月1回程度) ◆道徳参観日を行い、保護者参加率を85%以上継続 					<ul style="list-style-type: none"> ①「高知の道徳」について、懇談等で活用の仕方を紹介 ②道徳だよりや学級通信などを通して、児童の学びを家庭や地域に発信するとともに、「高知の道徳」などを活用して啓発 ③道徳参観日の実施・地域の方へも参観を呼びかける・アンケートの実施・取りまとめ・分析・共有 						<ul style="list-style-type: none"> ①「高知の道徳」について、懇談等で紹介し活用の仕方を紹介する ②道徳だよりや学級通信などを通して、児童の学びを家庭や地域に発信したり、「高知の道徳」などを活用したりして、啓発 ③道徳参観日の実施・地域の方へも参観を呼びかける・アンケートの実施・取りまとめ・分析・共有 										